

# 公共下水道事業特別会計状況調書

## I 事業概要

昭和56年度から公共下水道の整備に着手して以来、積極的に事業の推進に努め、平成22年度末の人口普及率は約95.5%となる見込である。

下水道管渠整備については今年度より、老朽化した中央町地区の雨水幹線施設の改築更新工事を行う。

若山浄化センターについては、平成2年の供用開始から20年を経過しており、老朽化した機械設備の改築更新を継続して行う。

公共下水道による整備区域以外の区域として区分した個別排水処理区域については、住民の要望に基づき市が浄化槽を設置・維持管理する「個別排水処理施設整備事業」を今年度も引き続き行う。

## II 事業内容

1	下水道事業費	2,353,140	千円
	(1) 投資的事業費	計	508,600 千円
	① 下水道管渠整備事業費	365,000	千円
	鉄南1号幹線	延長158m	259,000 千円
	来馬川4号幹線	延長250m	
	公共枿、私道等		106,000 千円
	② 終末処理場整備費	139,300	千円
	処理場改築更新（水処理設備更新）		120,400 千円
	処理場改築更新設計（長寿命化）		18,900 千円
	③ 汚水処理施設共同整備事業費	4,300	千円
	し尿投入施設建設工事（外溝）		4,300 千円
	(2) 経常経費	計	1,844,540 千円
	一般管理費		137,950 千円
	管渠維持費		71,652 千円
	浄化センター費		221,360 千円
	排水設備促進費		3,227 千円
	し尿投入施設運転管理費		8,101 千円
	公債費		1,401,250 千円
	予備費		1,000 千円
2	個別排水処理施設整備事業費	19,760	千円
	(1) 投資的事業費	個別排水処理整備費	12,600 千円
	(2) 経常経費	個別排水処理管理費	4,828 千円
		公債費	2,332 千円
		公共下水道事業費合計（1+2）	2,372,900 千円

## 【個別排水処理施設整備事業費】

### 1. 事業概要

下水道整備が後年次となる上登別地区、登別温泉地区等及び下水道整備計画区域外の市内全域【個別排水処理区域】についての生活排水処理を合併処理浄化槽により実施する。

#### 【個別排水処理区域】

カルルス町・上登別町・登別温泉町・札内町・富浦町・来馬町・鉦山町・川上町の全地域。  
中登別町・登別東町・登別港町・新栄町・幸町・千歳町・常盤町・柏木町・片倉町・青葉町  
緑町・若山町・富岸町・鷺別町・上鷺別町の一部の地域。

### 2. 事業内容

- ・事業手法 個別排水処理施設整備事業(総務省所管起債事業)
- ・対象家屋 専用住宅、店舗併用住宅、共同住宅、事務所
- ・設置方法 住民の要望により市が浄化槽を設置する
- ・管理方法 保守点検、法定検査、修理等については市が行う
- ・住民負担 浄化槽設置費の1割と、浄化槽稼働に伴う電気代  
浄化槽使用料金(下水道使用料と同一計算)
- ・市負担 浄化槽設置費の9割と、維持管理費

### 3. 事業計画

設置費(10基)	12,600千円
維持管理費(58基)	4,778千円
利子補給(融資あっせん)	50千円
公債費	2,332千円
計	<u>19,760千円</u>